発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
（電話・五城目501番）
印刷所 能代市・小沢印刷所

上水道第一次工事完成

四〇〇〇石の配水池

上水道建設の最終年度である三十六年度施行分は着工以来、予定どうり進捗し、送配水管の布設、道路築造工事が完成、残された配水池の築造工事もいよいよ完工となって、三十四年度から三十六年度までの継続事業はここに完成をみるにいたった。

この工事の完成によって、いままで水源地から直接ポンプ直送していたものが、こんどは配水池からの自然流下となって家庭の蛇口に流れることになる。

この配水池は、すでに御承知のことでしょうが七二〇立方米（約四、〇〇〇石）の鉄筋コンクリート造りのもので水源地が災害の場合であっても節約すれば二日は保つことになるので、これまでのように洪水や工事のたびごとに断水するということはなくなり、安心して使用していただけるわけである。また消火栓の使用についてもポンプ場で操作することなく、常時四キロから五キロ程度の圧力で消火揚水ができることになったのでいよいよ環境衛生、火災防止の明るい町造り、文化生活の改善など住みよい町のため役立つことになったものである。

竣功式は検査後に行なうが、七月二十七日を予定しておりそれまでの間は、水質検査や施設の検査、清掃を十二分に施して竣功式の当日から配水池より自然流下給水を開始するものである。

なお、第二次工事として、いままでの水不足や断水などの不慮の事故をなくすため本年度から約一千五百万円の予算で、電波探知による完全な水源地を他にもとめる作業を計画中でありこの水源地探知の成功によって五城目町の上水道は完全にできあがることになる。

7・8月の税金

国民健康保険税第二期
固定資産税 第二期
納期限は7月末日
町民税 第二期
納期限は8月末日

夏の健康を守りましょう

〃伝染病予防は手洗いから〃

伝染病や食中毒は高温で湿度の高い今頃から出はじめる。本町では赤痢の罹患がすでに十一名に達しており、昨年の発生数から見ても多発のおそれがあるので全町民をあげて予防に努めたいものである。

夏に多い伝染病は赤痢、小児マヒ、日本脳炎などであり、これらの病気は口から入るので手をよく洗うことが一番大切である。

食中毒は清潔と迅速と温度に注意することによって防げる。また、カ、ハエ、ゴキブリなどの衛生害虫の駆除は町内部落が組織的にこれを実施し、環境の改善をはかるようにしたいものである。

待望の日米高校レスリング大会

盛会裡におわる

——国際親善のきづなをつくって——

待望久しかった日米高校レスリング秋田大会は、七月十七日午后三時第一中学校体育館において盛大に開催された。

会場は超満員、東京 神奈川郡馬と全勝街道をばくしんしている米軍選手に対し、秋田選抜軍はよく戦い、前半軽量級戦において三対三と同点となり、後半重量級戦においても一進一退のシーソーゲームで最後まで白熱した戦いの連続であった。

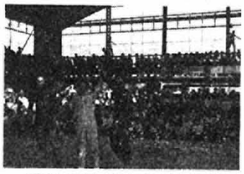
秋田軍は五勝七敗一引分けと惜敗はしたが、その健闘ぶりは会場を埋めた観衆はだれもがほめたたえたことであった。

なお、小畑知事からおくられた優勝杯は米国軍の手に帰したが、日米両軍の終始なごやかな雰囲気のうちに大会を終えることができたのは何よりも偉大な収穫であった。

米国軍団長代理のジェーヘレン・パーテン氏は〃日本にきてこれほど町民こぞっての歓迎をうけたのははじめてだ。一生涯忘れることのできない思い出をつくりました〃とお礼のことばを残して五城目を去って行った

（万らいの拍手で迎えられ目抜き通りを行進する選手役員団）

（おみやげにミハンテンミを）


（最後の試合 76.5kg級は米国エドワード選手の判定勝ち）

宿望の山の手線開通

=延長千四百六十米=

昭和二十九年、五城目町都市計画地域指定になり、昭和三十一年に全町の街路の計画が決定し、山の手線は昭和三十四年に事業がきまり、昭和三十四度から三十六年度までの継続事業で行われたが、このほど完成し、七月十日、県知事代理、町議会議員など関係者多数出席のもとはれの竣工式が行われた。

これにつかわれた事業費の総額は二千二百八十万円。道路延長千四百六十米、全巾員九米の砂利道で、この敷地総面積一町三反八畝歩である。

なお用地買収にあたっては将来の都市計画の基幹を勘案して十二ないし十六米とし、それに多少の余ゆうを残している。

この山の手線の開通によって交通はもちろん、町産業振興面には相当の利便をまねくことである。

（竣工のテープを切る町長）

（開通した山の手線）

河川改修工事着々と進む

世紀の大事業である八郎潟干拓事業にともなう湖東岸五河川の流入河川改修工事が、現在活発に行われているが、この河川改修工事は三十六年度より三ケ年継続事業で二〇億円の予算額である。この予算額は干拓直接の農林省の補償費という事業費であり、このほか馬場目川改修に対しては、建設省の予算で上流改修も行われる。

馬場目川は五河川（馬場目川、種川、馬踏川、豊川、井川）の中でいちばん大きい。

すでに上流富津内川合流点までの改修工事はできあがっている。

川崎電車停留所附近を境として下流は農林省所管で行われ、上流は建設省所管の公共事業費で施工されるものであるが、三十六年度実績については下流部は大川および一日市地区の家屋移転ならびに用地買収など準備作業に向けられ、上流部は左岸延長二〇〇米および右岸昭辰橋上流より五城目橋下流間、延長九八〇米、この二ケ所の事業費計四千万円で施工された。

本年度は上流部は馬城橋左岸詰めを中心に上一部家屋移転補償、また下一部延長八〇米程度の護岸施工で、この事業費一千万円であり、下流部の農林省予算分は国道竜馬橋下流地帯両岸すなわち河川延長二六〇〇米にわたる護岸および堤防の改修で事業費一億六千万円で、すでに起工されている。

また、この工事にともなってやがては馬城橋などの橋も永久橋にかけかえられることになる

秋田県物産展と観光展

五城目町からは〃家具〃〃桶樽〃 〃刃物〃などが出品されています

秋田県の物産を広く宣伝紹介し、県物産の販路開拓をはかる目的で北海道の札幌市および釧路市において七月十日から県と八市五町の共催で開催されている。本町からは家具、桶樽、刃物などが出品され、非常に好評をはくしている。

現在本町の家具は北海道にはほとんどわたっていないが、物産展では毎年好評を得ているので今後は量産体制を備えて販売ルートをもつことである。

また、このほか桶樽は五城目桶樽協同組合独自で帯広市における現地組立販売を行なっており、今年の生産目標は昨年の生産量より四千個多い、一万個を予定している。

組立販売は現地からの要望もあって九月二日ごろ出発の予定となっている。

これは今後帯広地域にとどめることなく、道内数ケ所において行うべく県北海道事務所と連絡をとり、その実現方にがんばっている。

また刃物も毎年組合の代表者が道内の各地を巡回し、年々その受注量が多くなってきている

なお、このたびの物産展には家具二二点、桶樽五七六点、刃物八六点が出品されている。

褐毛和牛繁殖に

——牧野を設定計画——

今年四月から町ならびに農協畜産組合などの指導のもとに山間部の馬場目、富津内、内川にぞくぞくと褐毛和牛の生産組合が設立され、この改良増殖を図るため活発に活動している。

優良な繁殖牛を年度内に四十頭導入する計画で、すでに八頭を導入した。また近く人工授精に不便な奥地に県および畜連有の種雄牛が配置される見込みであり、将来は県内でも屈指の褐毛和牛繁殖地帯とするようつとめている。

このように年々増大してくる牛の飼育に労力、草資源などの問題があるので町では草地利用方式の向上に資するため、国の行う牧野調査を昭和三十六年から受けていたが今月中におわることになっており、これを待って具体的な造成計画に着手するよう準備中である。

へき地保育所開設

馬場目 内川 旧出張所で

へき地保育所設置についてはかねて申請中のところ六月十二日付をもって県厚生部長より補助内示があったので、六月の町議会の議決を得、馬場目保育所は七月十四日内川保育所は七月十六日からそれぞれ開所した。

建物は旧出張所を内部改造してこれにあて、日曜、祭日その他地域全体の休日以外は当分の間毎日午前八時半から正午または二時頃まで保育する。保育児は数え年六、七歳の二年保育とし将来は四、五歳から保育する意向である。

保育の目的は①子どもの健康増進と疾病の予防②基本的な生活習慣③集団生活。などが主なるもので、これにあたる保母は馬場目三人、内川二人である。

入所児童は馬場目が五五人、内川が三七人でいずれも定数の三〇人を超過している。

今日は入所式、みんなの顔はうれしそう

会と催し

◈消防規律訓練ならびにポンプ操法訓練の講習会
於五小校庭 7月26日

◈上水道工事竣工式 於稲荷前配水池現場 7月27日

◈家具・建具桶樽など商工関係デザイナー指導会
於役場会議室 7月末日

◈東北高校レスリング大会
（高松宮杯争奪戦）於第一中体育館 7月28日～29日

高松宮殿下より御下賜された純銀製優勝杯をめぐって激しい争奪戦が予想される。

本県から秋田商業高校、秋田工業高校、短大附属高校、秋田高校の4チームが出場。

地元五城目高校からもオープン戦に出場の予定である。

県外からは青森第一高校、八戸高校、山形南高校、山形商業高校、仙台高校、仙台育英高校の6チームが出場する。

なお高松宮杯のほかに知事、町長、町議会議長杯があり、また各クラスの優勝者に対して優勝楯がおくられる。

最近における
婦人団体の活動をみて
富津内地域（1）

忙しかった田植、除草も一段落つき、貸切りバスなどによっての「視察旅行」も終り、これから各団体の活動もいよいよ活発化しようとしているが、どこかまだすっきりしないで、のびなやみをしている会の多い中に、最近活発に動き出してきた会の活動状況をさぐってみることにしよう。

（料理学習で「わが家の栄養設計」と題して発表する学級生の八木下さん）

富田若妻会の料理学習盛会

つい先頃、富田若妻会では富津内公民館において、栄養料理学習の「閉講式」を行なった。昨年の1月に開講した若妻の「料理学級」であり、約1年半におよぶ長い間の料理学習とあって、さぞいろいろな料理をふんだんに作れるであろうと、うらやましいと思うが反面その労苦は大変だったと思う。当日は今村保健所長、猿田栄養士など学級担当者をはじめ、学級生30数名の出席で今村所長より「修了証」を渡されてれくさそうにしていたがやはり嬉しさをかくしきれずにいた。続いて保健所長などの祝で習得した得意の栄養辞があり、学級生代表の謝辞などあったりして、閉講式が終りお祝いの「赤飯」や、学級料理で成人病予防などを中心とした話合いをしながら、1年半の過去をいろいろ語り合ったが、今後一層精進して栄養の向上による、健康管理に努力されることを期待している。

東地区若妻会研修会開催予定

昨年度まで東地区若妻会の会長は、小玉ハルエ氏で40代の役員で運営していたが、今年度から後進に道をゆずり、前述のように従来の各地の婦人会より、もっと研修を重ねて具体的な活動の出来る団体として「親の会」を結成したものであるが、現在の若妻会（会長伊藤花美氏）では役員組織を改めてから現在まであまり積極的な行事もしてないので、来る22日（日）午後1時半から東小学校において、「研究集会」を開催する予定でいる内容は講演と座談会などであるが、演題「妻として母として」を題にして行ない、さらに終ってから講師を中心に若妻会の運営などに関連させながら「座談会」をもつ計画を進めているが、講師の関係で多少ずれることも予想される。

西地区若妻会研究集会開催予定

西地区若妻会（会長　伊藤澄子氏）でも、来る23日（月）午後1時から西小学校において、研究集会をもつことにして準備中であるが、その内容をのぞいてみると、講演「変ぼうする社会に対応出来る若妻会活動のあり方」と題して講師・秋田大学助教授工藤やす夫先生を迎えて行なう予定でおり、その後2つの分科会にわかれて話合いをし、研究を一段と深めることにしている。

第1分科会　テーマ「若妻会活動と他団体との望ましい関係について」
司会者　副会長・原田ミサ氏　　助言者　郡婦人会連合会長　小野文子氏
第2分科会　テーマ「子どものしつけについて」
司会者　副会長・大石ミナ氏　　助言者　県婦人教育指導員　佐藤　貞氏
全体討議　テーマ「分科会の話合い内容の報告事項に基いて話合いに深さをもとめる」
司会者　会長・伊藤澄子氏　　助言者　分科会助言者　全　員

以上のような内容で開催することになっておるので、この集会には全会員出席されるよう望まれている。

新らしく組織された富津内東「親の会」

このほど東地区に健康でかしこい子供を育てることと自分達も子供の相手になれる親になるための学習をしたり、子供を守るいろいろな行事を催したりする、東地区の「親の会」が結成され、会長に小玉ハルエ氏(高田)が選ばれた。こうした地区の連合会が出来る前に、高千部落では「部落親の会」が結成されているが、これらは福祉事務所などの指導助言を得て運営しているが、今後子供育成を中心とした諸活動の展開されることを期待している。なお高千部落では高千公民館前の、小玉康一朗氏所有の土地を無償提供して、子どものために「遊び場」を開設する動きがあり、別にまた千日にも設けるような話もあり、実現すれば子どもの将来のために、この上ないしあわせをつくる場となることであろう。実現を祈ってやまない。

山岳鑑賞ハイキング実施要項

五城目町体育指導委員会と五城目町中央公民館主催で、当町の景勝地である馬場目岳を中心に、山岳鑑賞ハイキングを実施することになりましたので、町民のみなさんは奮って参加してください。

山岳鑑賞ハイキング実施要項

一、**趣旨**　町民の体位向上と健全なレクリエーションとしての登山を普及し、あわせて町民の融和親睦に役立てる。

二、**主催**　五城目町体育指導委員会、五城目町中央公民館

三、**後援**　五城目町、五城目町教育委員会　五城目町体育協会。

四、**協賛**　五城目町馬場目公民館町立杉沢小中学校、杉沢部落会、杉沢青年会

五、**期日**　八月四日（土）～五日（日）
雨天の場合は順延
一泊二日

六、**時間**　八月四日（土）午後二時一〇分五城目駅前発＝杉沢行バスに乗車
〇杉沢着午後三時宿泊地へ向う。宿泊地＝北ノ又分校又は馬場岳（野宿）
〇杉沢発午後六時〇〇分バスで帰参

七、**場所**　五城目町杉沢方面
コース　杉沢発三時三〇分―北ノ又分校着四時三〇分。北ノ又発七、〇〇分（杉沢発の場合六、〇〇分）―銀ノ沢着九、〇〇分　銀ノ沢発九、三〇分―馬場岳頂上着一一、〇〇分　頂上発一二、〇〇分―三階の滝着一、三〇分―滝発二三〇分―落合着四、三〇分　落合発四、三五分―杉沢着五、二〇分の予定。

八、**レクリエーション**
携帯の遊び用具によるもの
キャンプファイヤー

九、**参加**　町民一般男女希望者対象

一〇、**携行品**
1食糧関係＝米六合位非常食（携帯食）若干副食（漬物類）嗜好品適宜。
2衣類関係＝着替えシャツ、セーター、毛布、靴下、軍手。
3日用品類＝洗面用具、タオル、手拭、筆記用具、チリ紙、化粧用品。
4その他＝飯盆食器類（飯碗汁小皿、はし類、ヘラ、シヤモジ、コップ、水筒、布袋類、ナイフ、マッチ、懐中電燈、細引、風呂敷三枚（ナイロン二枚）新聞用紙等紙類。

一一、**準備**　服装は軽快にして固く、足にキャヤハンをまく帽子を忘れずに。履物（地下タビ、運動靴、登山靴）リユック。

一二、**経費**　杉沢往復のバス賃実費（約百五〇円）ただし五城目駅より乗下車する場合。

一三、**申込先および期限**　五城目町中央公民館、各地区公民館（各支所内）（申込み用紙を備え付けておく）申込期限は七月三十日。

一四、**写真展**　十一月上旬頃に「山岳鑑賞ハイキング写真展」を開いて参加者の撮影を通してわが町の景勝地を広く紹介したい計画ですので、参加者の中でカメラ所有の方は是非持参の上、写真展の内容を深めて頂きたい。

一五、**其の他**
1ハイキングの役員及び各係は後日発表します。
2ハイキングの班別編成は当日杉沢において決定したいと思います。
3炊事大道具は宿泊地元から協力を仰ぐ。
4参加者の中でレク用の用具がございましたら是非御持参下さい。

県教育委員
五城目婦人学級視察

去る六月七日（木）午後、県教委一行は五城目高校視察に来町され、この機会にふだんみることのすくない社教活動の実際をみたいとの希望で、当日たまたま学習予定日になっていた、五城目婦人会の「つゆ時の栄養料理」と題した学習を、保健所で開設していたので、その学習の実際を視察していただいたもの。なお一行が帰庁出発の前に約十五分にわたって、高橋委員長より婦人教育の重要性など中心に、激励とおほめのことばがあった。今後一層の成果を期待されている。

（料理講習会における講師の説明に熱心な表情の婦人たち）

第3回全町体育祭は
9月2日に延期

全町体育祭は7月22日（日）に行なう予定でその準備をすすめていたが、日米高校レスリング大会など町行事が重なった関係で九月二日（日）に延期しましたのでご了解下さい。

7月10日　五城目
第一中増築校舎落成

今春以来着工していた五城目第一中学校校舎の増築工事は、このほどできあがり、七月十日よろこびの落成式を行なった。

校舎は鉄筋コンクリート造り二階建てで、教室は階上、階下二つづつあり、近代的な建物で特別教室に使用できるように設計されている。総坪数一三三坪で、総工費九百万円。なお設計監督は秋田市佐々木和三郎氏、請負者は能代市中田建設株式会社。

結核一斉検診はじまる

本年度の結核一斉検診は、七月十日を皮切りに十一月二十日で全町にわたって実施することになった。

結核の死亡者は減っているがかかる率はむしろ多くなっているといわれ、いったんかかるとなかなか治りにくい病気なので、初期のうちに発見し、治療することがいちばん大事なことであって、それにはレントゲンによる検査が必要であるから、からだに自信のある方でも年に一度は検査するのが健康保持上大切である。

町では五城目保健所の協力のもとに、一人の結核患者もいない町造りのために一斉検診を行なうから全町民一人のこらず検診するよう強く要望したい。

日程表は町内部落の協力員を通じ配布してあるので、その日は是非くりあわせて検診するようお願いしたい。

完納で明るい町づくり
……昭和36年度納税表彰式……

昭和三十六年度納税表彰式は七月六日役場会議室において納税功労者をはじめ、各納税組合の代表者、来賓の佐藤秋田北税務署長等およそ関係者百二十名が出席、盛会に行なわれた。

当日表彰をうけた組合、納税功労者は次のとおりである。

一、全戸加入で七ヵ年以上納期限内連続完納した組合
高千、西野第三、八幡前、四ッ屋　以上四組合。

二、全戸加入で五ヵ年以上納期限内連続完納した組合
門前、落合、浅見内第一、湯ノ又羽立　以上四組合

（表彰をうける納税功労者）

三、全戸加入で三ヵ年以上納期限内連続完納した組合
館越、台御蔵下、八田、脇乙湯ノ又横山、小倉、滝の下湯ノ又第四、西野第一、下樋口第一、下樋口第二、谷地中第一、西野第三、浦横町　以上十四組合。

四、納税功労者
金子重太郎　渡辺悦郎
越高政治　鈴木善蔵
伊藤勇　伊藤与四郎
椎名米蔵　松橋利男
島崎斉之助　佐々木善蔵
以上十名

年度別納税組合の成績

年度	組合数	組合員数	年税額	納付額	納付率	100%の組合	90%以上組合	90%以下組合
	組合	人	千円	千円	%	組合	組合	組合
30	55	1,628	13,952	11,968	86	18	8	21
31	62	1,931	21,401	16,067	75	18	11	33
32	46	1,058	15,543	14,038	90	19	12	15
33	70	1,498	24,449	23,222	94	36	27	7
34	84	1,725	29,921	28,421	95	55	16	13
35	96	2,029	29,999	29,456	98	83	9	4
36	112	2,248	30,968	30,327	98	100	8	4

納税組合の加入状況

地区別	組合数	組合員数	加入割合
五城目	26	571	34.0%
馬場目	24	426	80.5
富津内	16	457	96.8
内川	14	339	89.6
大川	24	303	74.6
面潟	8	152	67.5
計	112	2,248	60.9

へき地巡回診療班来る

八月四日　浅見内
八月五日　高千

昭和三十七年度県の巡回無料健康診断は八月四日浅見内、五日は高千と決定した。

当日は中央病院の医師、看護婦、薬剤師、レントゲン技師などで編成された診療班で軽い治療や投薬を行うほか、衛生指導もあわせて行うことになっている。